

免疫力について

免疫力について仮説をたてられるまでに解ってきました。
私達人間には、年齢が若くて健康な人達と、年齢が若くても健康じゃない人達
います。

この2種類の人達は何が違うのでしょうか？

現代の医学では解りづらいと思います。

現在の医学は対処療法だからです。

対処療法は、病気があるその部分だけを見る医学です。

この2種類の人達の違いは、その人間のもつ免疫力（気）の違いです。
免疫力（気）の高い人達は、ちょっと休めばすぐに回復して元気になります。
免疫力（気）の低い人達は、休んでも身体の回復が遅いのです。

自然の中で野草達は元気です。
山の樹木も野草達も元気です。
山や自然の環境は免疫力（気）が高いのです。

高い山や、その山に生えている樹木は気が高いのです。
またその土地も気が高いです。
私達は精神的に疲れた時などに、山や樹木の多いところへ行き、癒されたことが
一度や二度はあると思います。
自然の中でリフレッシュし、力が湧いてくる、元気が出てくることを感じたこと
があると思います。

その土地の気が高いからです。
『気』が関係しているのです。
気が免疫力を高めるのです。

GP 農法で育てた野菜は、気が高いです。
どの GP 野菜にも共通していることは、甘い、そして野菜の持っている自然の味
と香りがある、ということです。
栄養価の数値も高いのです。
GP 野菜は免疫力（気）が高いので鮮度が落ちると枯れます。

それは GP 農法で耕作する畑の土に原因があるのです。
GP 農法で耕作している畑は気が高いのです。
山や樹木、生息している自然の気の高い環境を作り出しているからです。
慣行農業での連作障害・病気・害虫の発生もなくなるのです。

春になると、自然の中では樹木に若葉の芽が吹き始めます。
そこに、必ず虫達が集まります。
子孫を残す為に、もの凄い数の幼虫が樹木の葉を食べて成長します。
それに合わせて、幼虫をエサにして鳥達が子育てをするのです。
食物連鎖です。

慣行農業で育てた野菜にも、春にはいっぱい虫がつきます。
でもこの虫を鳥達は食べないのです。
この虫の気が弱いのと、毒があるからです。
鳥達は解って食べないのです。